SMILE＆SECURITY

株式会社 トスネット

2018年9月期

【2018年9月30日現在】

「決算説明会」

2018年11月27日

説明者　代表取締役社長　氏家　仁

説明者　取締役経理財務統轄部長　朽木　雄二

42th

JASDAQ 4754

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

目次

第一部　トスネットグループの概要　・・・　P. 1

1. 株式会社トスネットの概要とグループ20社のネットワーク　・・・　P. 2
2. 各セグメントの業務イメージ　・・・　P. 3

第二部　トスネットグループ　2018年9月期「連結業績報告」　・・・　P. 4

1. 収支の状況（連結損益計算書）　・・・　P. 5
2. セグメント別売上の状況　・・・　P. 6
3. 財産の状況（連結貸借対照表）　・・・　P. 7
4. 2019年9月期・連結および個別通期業績予想　・・・　P. 8

第三部　警備業界の現状・・・　P. 9

1. 警備業界の統計　（警察庁生活安全局生活安全企画課統計より）・・・　P. 10

第四部　新「中期経営計画・チャレンジ2020」初年度総括　・・・　P. 11

1. 計画の概要　・・・　P. 12
2. 計画の初年度総括　・・・　P. 13

第五部　TOKYO 2020に向けて　・・・　P. 14

1. 大会警備に向けた警備業界これまでの動き　・・・　P. 15

第六部　トスネットの「経営理念」　・・・　P. 16

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

第一部　トスネットグループの概要

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

1. 株式会社トスネットの概要とグループ20社のネットワーク　（2018年9月末現在）

「トータルセキュリティネットワーク」 ： 1都1道18県／77拠点（警備事業70拠点）

株式会社トスネット

◇1977年(S52年)3月30日設立
◇代表取締役社長　氏家 仁
◇本社：仙台市宮城野区
　　宮城野1-10-1
◇資本金：7億8，293万円
◇決算月：9月
◇上場市場：東京証券取引所
　　JASDAQ市場
◇社員数：421名(2018年9月末)
◇ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社20社(当社含み)
◇業務協力：セコム株式会社
◇業務提携：ｼﾞｵｻｰﾁ株式会社
◇全国警備業協会加盟
◇宮城県警備業協会加盟
◇仙台東地区警備業防犯協力会

～シナジー事業～

（店内保安警備）
(株) 日本保安

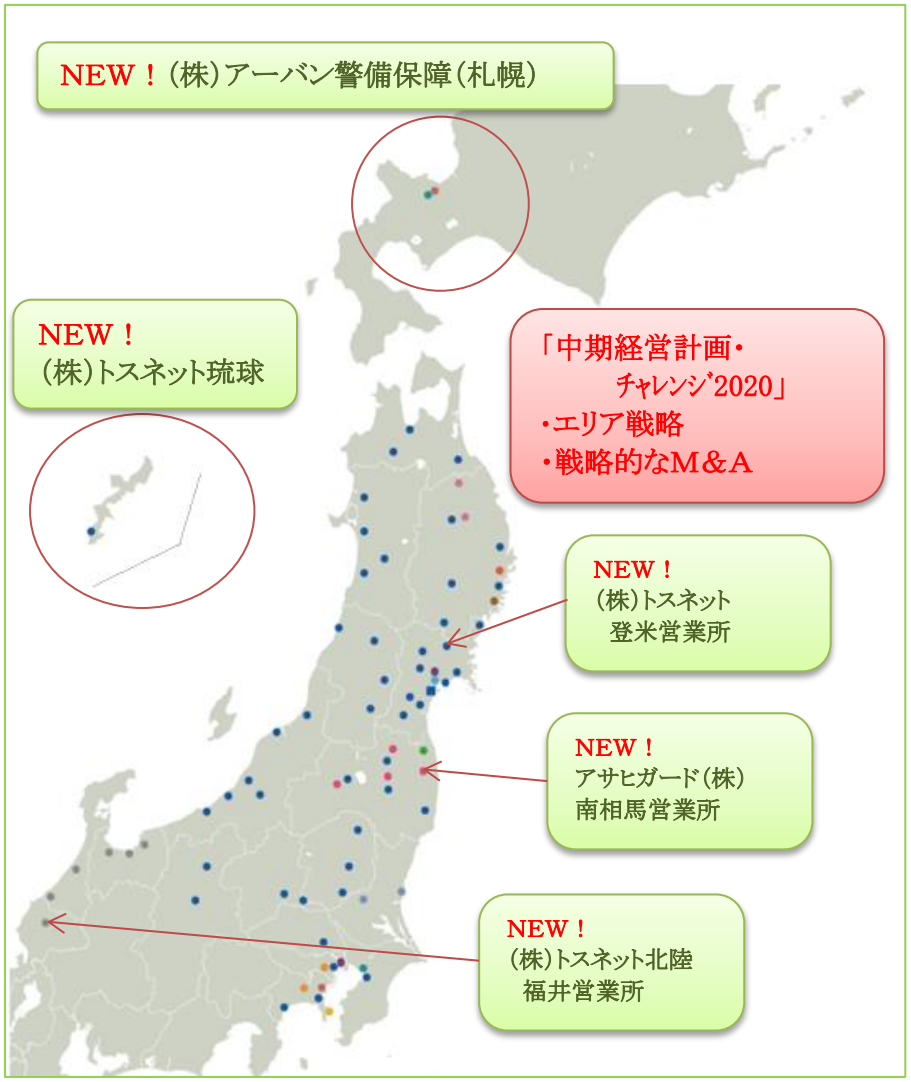
（ビルメンテナンス事業）
(株)ビルキャスト

（メーリングサービス事業）
(株)メーリングジャパン

（電源供給事業）
ICCｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ(株)

～警備事業～

(株)トスネット
(株)トスネット北東北
(株)トスネット南東北
(株)トスネット首都圏
(株)トスネット上信越
(株)トスネット茨城
(株)トスネット北陸
(株)トスネット釜石
(株)トスネット陸前高田
(株)トスネット相馬
(株)トスネット琉球
(株) 大盛警備保障
(株) 三洋警備保障
アサヒガード(株)
(株) エイコー
(株)アーバン警備保障



Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

2. 各セグメントの業務イメージ

交通誘導警備

施設警備

イベント警備

列車見張り警備

ロードスタッフ

その他（ﾊﾞｽﾎﾟｰﾀｰ事業）

店内保安警備

ビルメンテナンス事業

ﾒｰﾘﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ事業

電源供給事業

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

第二部　2018年9月期「連結業績報告」

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

1. 収支の状況（連結損益計算書）

2018年9月期は、前期比「増収・減益」決算となりました。

（単位：百万）

	2017年9月期 決算	構成比	2018年9月期 決算	構成比	前期比較 増減額	増減率	修正予想	比較
売上高	9,971	100.0%	★ 10,370	100.0%	＋398	＋4.0%	10,000	＋370
売上総利益	3,231	32.4%	3,380	32.6%	＋149	＋4.6%		
営業利益	815	8.2%	818	7.9%	＋ 3	＋0.4%	800	＋ 18
経常利益	881	8.8%	904	8.7%	＋ 22	＋2.6%	850	＋ 54
当期純利益	558	5.6%	518	5.0%	△ 39	△7.3%	390	＋ 128

「売上」 ★★ トスネットグループ悲願の連結売上100億円を達成！～ ★★

①エリア戦略	ﾄｽﾈｯﾄ・登米（営）、ﾄｽﾈｯﾄ北陸・福井（営）、ｱｻﾋｶﾞｰﾄﾞ・南相馬（営）・・・新拠点開設 株式会社トスネット琉球設立・・・平成30年3月～警備事業開始	売上寄与 305百万
②M&A戦略	株式会社アーバン警備保障・・・平成29年10月、M&Aにより100％子会社化	

「営業利益」	売上増加＋売上総利益率up(＋0.2P)＝売上総利益149百万増⇒固定費146百万増（内、一般職社員人件費90百万増）
「経常利益」	営業外収益22百万増（内、助成金収入17百万増）⇒営業外費用2百万増
当期純利益	特別利益41百万減（内、投資有価証券売却益41百万減⇒特別損失2百万減

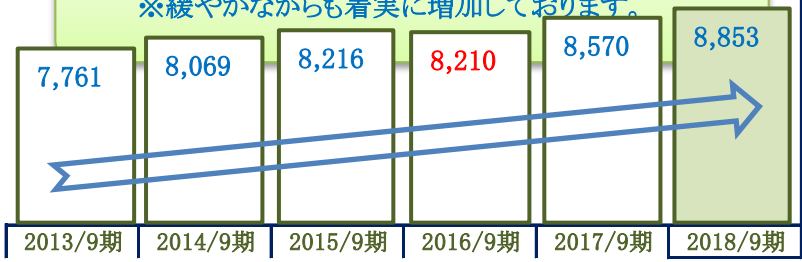
Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

2. セグメント別売上の状況

警備事業売上「年率3.3%増」 ← M&A効果176M＋エリア戦略効果129M＝305M

(セグメント)		2017年9月期 決算	構成比	2018年9月期 決算	構成比	前期比較 増減	前期比較 増減率
警備事業	交通誘導警備	5,334	53.5%	5,584	53.9%	＋250	＋4. 7%
	施設警備	2,410	24.1%	2,497	24.1%	＋ 86	＋3. 6%
	列車見張り警備	547	5.5%	451	4.3%	△ 96	△17. 7%
	その他警備事業	277	2.8%	320	3.1%	＋ 43	＋15. 7%
	警備事業計	8,570	85.9%	8,853	85.4%	＋283	＋3. 3%
その他	ﾋﾞﾙﾒﾝﾃﾅﾝｽ事業	188	1.9%	176	1.7%	△ 11	△6. 3%
	メーリングサービス事業	620	6.2%	645	6.2%	＋ 24	＋3. 9%
	電源供給事業	592	5.9%	694	6.7%	＋101	＋17. 2%
	シナジー事業計	1,401	14.1%	1,516	14.6%	＋116	＋8. 2%
連結売上高合計		9,971	100%	10,370	100%	＋398	＋4. 0%

警備事業売上・東日本大震災以降の推移
※緩やかながらも着実に増加しております。



警備事業	エリア戦略の推進とM&A効果により売上増となりました。
ﾋﾞﾙﾒﾝﾃﾅﾝｽ事業	人材派遣の低迷により売上減少となりました。
ﾒｰﾘﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ事業	積極営業による取扱通数の増加により売上増加となりました。
電源供給事業	主力であるｺﾝｻｰﾄ受注増により大幅な売上増となりました。

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

3. 財産の状況（連結貸借対照表）

（資産の部）	2017年9月期 決算	2018年9月期 決算	増減	（負債・純資産の部）	2017年9月期 決算	2018年9月期 決算	増減
現金及び預金	3,282	注1 3,547	＋265	短期借入金	510	注3 500	－ 10
警備未収入金	1,042	1,102	＋ 59	1年以内返済予定の長期借入金	367	注3 149	－218
その他流動資産	381	434	＋ 52	未払費用	652	662	＋ 9
流動資産計	4,705	5,084	＋378	その他流動負債	665	752	＋ 86
有形固定資産	1,831	1,810	－ 21	流動負債計	2,195	2,062	－132
無形固定資産	438	注2 422	－ 15	長期借入金	391	注3 473	＋ 82
投資その他資産	654	672	＋ 17	その他固定負債	283	294	＋ 10
固定資産計	2,924	2,905	－ 19	固定負債計	674	767	＋ 93
繰延資産	0	1	＋ 1	負債合計	2,869	2,830	－ 39
繰延資産計	0	1	＋ 1	純資産計	4,761	注4 5,160	＋399
資産合計	7,630	7,990	＋359	負債・純資産合計	7,630	7,990	＋359

注1）営業CF　＋726M
　　投資CF　△134M（内、M＆Aにより72M、有形固定資産の取得により41M、Cash Out）
　　財務CF　△326M（内、借入金返済172M、配当金支払118M）

注2）M＆Aによるのれん計上103M－のれん償却 114M

注3）新規借入金無し。約定返済により借入金減少。

注4）当期純利益518M
　　－配当金支払い118M⇒純資産399M増加

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

4. 2019年9月期・通期連結業績予想

「連結」	2018年9月期 通期実績	2019年9月期・通期予想 通期予想	前期比増減	前期比増減率
売上高	10,370	10,500	129	1.3%
営業利益	818	820	1	0.2%
経常利益	904	910	5	0.6%
当期純利益	518	500	−18	−3.6%

「個別」	2018年9月期 通期実績	2019年9月期・通期予想 通期予想	前期比増減	前期比増減率
売上高	1,202	1,200	−2	−0.2%
営業利益	−382	−400	−18	
経常利益	282	240	−42	−15.2%
当期純利益	236	200	−36	−15.3%

※警備業界、今期のビジネス環境
　警備業界の現状（警備員不足、高齢化）及び「働き方改革」という政治状況等に鑑みて、労務費高騰による収益環境の悪化が見込まれます。したがいまして、大幅な増益は見込めないビジネス環境と判断しております。

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

第三部　警備業界の現状

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

1. 警備業界の統計（警察庁生活安全局生活安全企画課統計より、）

(1)警備業界の「警備員数」「警備業者数」の推移

	平成26年	前年比	平成27年	前年比	平成28年	前年比	平成29年	前年比
全国警備員数	537,285	−5,880	538,347	1,062	543,244	4,897	552,405	9,191
全国警備業者数	9,240	107	9,342	102	9,434	92	9,548	114
（規模別業者数）								
100人未満	8,351	198	8,330	−21	8,419	89	8,546	127
構成比	90.4%	＋1.1P	89.2%	−1.2P	89.3%	+0.1P	89.5%	+0.2P
1,000人未満	858	−92	964	106	966	2	954	−12
構成比	9.3%	−1.1P	10.3%	+1.0P	10.2%	−0.1P	10.0%	−0.2P
1,000人以上	31	1	48	17	49	1	48	−1
構成比	0.3%	−	0.5%	+0.2P	0.5%	−	0.5%	−

(2)直近警備員総数の年齢構成

30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
55,754	62,414	88,117	108,180	83,054	92,811	62,075
10.1%	46.9%			43.0%		

(3)警備業界の「売上高」推移

（一般社団法人社全国警備業協会調査）

平成26年	前年比	平成27年	前年比	平成28年	前年比	平成29年	前年比
3兆3,391億	＋730億	3兆3,546億	＋155億	3兆4,236億	＋690億	3兆4,761億	＋525億
	102.2%		100.5%		102.1%		101.5%

・警備需要の高まり
・警備需要の高度化

⇒

・警備員数増加基調
・警備業者数増加基調

⇒

・市場規模（売上高）拡大基調

⇔ 課題

※次代を担う青年層
警備員の増強と育成

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

第四部 「中期経営計画・チャレンジ2020」初年度総括

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

1. 計画の概要

～一人あたりの生産性向上×マンパワー(数)の増強～

(1)計画策定の経緯

2011年3月
東日本大震災

(2011／9期～2015／9期)
警備需要急増
⇒需要＞供給⇒警備料金高騰
⇒5期連続増収・増益

(中計策定の契機)
(2016／9期)
復興需要希薄化
⇒「減収・減益」

(2018／9期・初年度)
新「中期経営計画・
チャレンジ2020」を策定

(2)具体的戦略

基本戦略(1)
警備業務の「高付加価値化」
- 営業社員の資質向上・・・シナジー営業実践
- ロードスタッフの販売強化
- 警備員の資質向上・・・業務の高度化に対応

基本戦略(2)
「新たな売上」の創出
- 安全・安心産業に相応しい、そして警備業務に付加価値をもたらす「商材」の販売
  ※AED　※防犯カメラシステム　※さす又　etc.
  → あわせて、社会貢献活動や地域安全活動に寄与してまいります。

基本戦略(3)
積極的な「エリア戦略」と「M&A」
- 新たなエリアへの新たな営業拠点開設
- 同業他社を積極的にM&A

→ 警備員獲得

基本戦略(4)
警備員数(＝ストック)の増強
- 警備職社員「住居手当支給制度」新設 ★
- 新卒採用活動の強化

→ 基本戦略(4)

(3)計画最終年2020年9月末の数値目標

(百万円)

連結警備員数	
2017年9月末	2020年9月末
2,660名	3,000名

連結売上	
2017年9月末	2020年9月末
9,971	11,000

連結営業利益	
2017年9月末	2020年9月末
815	1,000

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

2. 計画初年度総括

(1)初年度数値計画(目標)対実績

(百万)　(人)

	売上	営業利益	経常利益	商材販売	期末警備員数
計画	10,300	900	950	150	2,770
実績	10,370	818	904	57	2,684
比較	70	−82	−46	−97	−86
達成率	100.7%	90.9%	95.2%	38.0%	96.9%

(2)各戦略実践の総括

基本戦略(1)

◇警備業の高付加価値化のための社員教育⇒営業ｽｷﾙとﾏｲﾝﾄﾞ向上、及び警備職社員の資質向上に取り組み中です。

◇警備業務に防犯カメラ、AED、さす又等を活用することによる新たな付加価値の創造が定着しました。

◇ロードスタッフ販売体制の強化を図った(各地で研修会実施)結果、年率30%の売上増(75百万増)となりました。

基本戦略(2)

◇「商材活用による社会貢献活動を推進する」という営業方針で取り組んでおります。実績面では未だ途上にあります。

基本戦略(3)

エリア戦略	トスネット 登米営業所	トスネット北陸 福井営業所	アサヒガード 南相馬営業所	前期業績寄与	売上 129百万　警備員数 77名
M&A	アーバン警備保障(札幌)			前期業績寄与	売上 176百万　警備員数 47名

※エリア戦略及びM&Aへの取組みが、前期業績に大きく寄与いたしました。

基本戦略(4)

◇前期末2，770名を目標に各種施策(警備員住宅手当支給制度新設etc.)に取り組みました。また、エリア戦略及びM&Aも寄与し前期比増加はいたしましたが、目標数には86名未達となりました。

「計画2年目の今期、さらに各戦略を推進してまいります。」

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

第五部　TOKYO　2020に向けて

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

1. 大会に向けた警備業界これまでの動き

（警備業界）大会ｵﾌｨｼｬﾙﾊﾟｰﾄﾅｰ＝セコム／ALSOK

※セコムさんは、当社業務協力会社であり、警備業務全般において連携しております。

(1)これまでの経過

2017年10月

ｵﾌｨｼｬﾙﾊﾟｰﾄﾅｰ2社⇒「発起人会」設立

・・・大会に向けた警備体制の構築に向けて始動！

（課題）「如何に警備員を充足するか」

※2012ﾛﾝﾄﾞﾝ・・・民間警備員必要数充足できず。
※2016ﾘｵﾃﾞｼﾞｬﾈｲﾛ・・・民間警備員必要数充足できず。

2018年4月

（大会警備）JV設立

（東京2020ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ競技大会警備共同企業体）

（OP2社＝）共同代表＋理事会社12社・・・1都3県

・・・オールジャパンの大会警備体制構築を標榜！

組織委⇔JV　覚書締結

①警備JVが、構成員の加入推進を行う。
②組織委がJVに警備業務を委託する。
③JVが体制整備を行う。
④・・・基本契約締結に向けて協議する。

想定される警備業務

【警備対象範囲】1都3県・・・大会競技会場、非競技会場、その周辺、＋公式練習施設、関係施設等・・・100ヶ所超
【期間】1ヵ月半
【想定警備業務】ｾｷｭﾘﾃｨﾁｪｯｸ（手荷物検査等）、会場周辺等の巡回警備、交通誘導、雑踏整理等、＝人的警備業務

(2)大会に向けて、

2018年6月～

（大会警備）JV拡大への動き

（共同代表＋理事会社12社）

JV参加警備会社募集

トスネットグループは、積極的に参加申請。

～目　標～

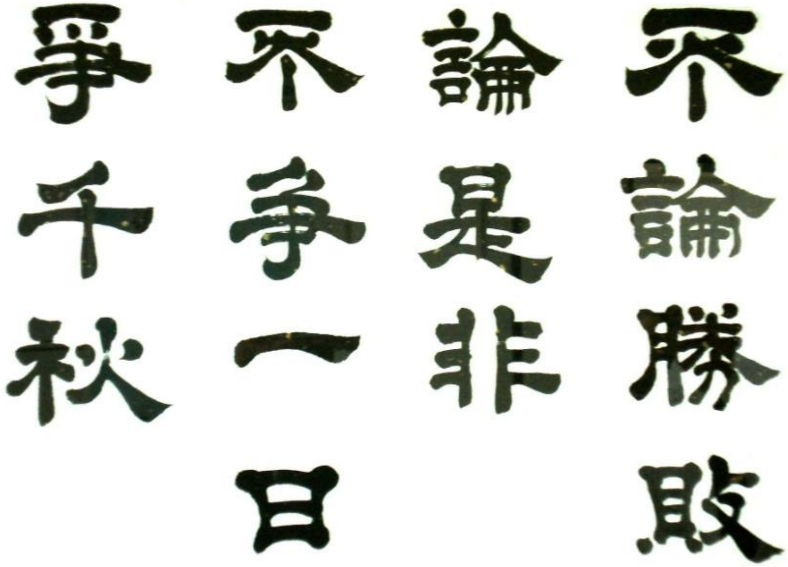
参加警備会社100社超
警備員数14，000名超

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

第六部　トスネットの「経営理念」

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

トスネットの経営理念



『「勝った負けた」「損した得した」だけではなく、やっている仕事が「正しかったかどうか」、

「今日よかった」とか「一年よかった」だけではなく、長期計画をもって事にあたろう』という考え。

（合　　致）

コーポレートガバナンスコード・原則２－１【中長期的な企業価値向上の基礎となる経営理念の策定】

上場会社は、自らが担う社会的な責任についての考え方を踏まえ、様々なステークホルダーへの価値創造に配慮した経営を行いつつ中長期的な企業価値向上を図るべきであり、こうした活動の基礎となる経営理念を策定すべき。

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

わたくし達トスネットグループは、「中期経営計画・チャレンジ2020」の最終年度であり、また「東京オリンピック、パラリンピック」開催年でもあります西暦2020年に向けて、さらなるパワーアップを図ってまいります。

そうすることが、西暦2030年までの次なる10年間もしっかりと成長を成し遂げていくための「礎（いしずえ）」となるものと考えます。

本日ご来場の投資家の皆様におかれましては、今後とも弊社トスネットグループに対して変わらぬご支援とご理解を賜りたく、切にお願い申し上げます。

本日はご静聴誠にありがとうございました。

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.

本資料についてのご注意

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われないようにお願いいたします。

Copyright ©2018 TOSNET CORPORATION All Rights Reserved.